学校番号	１１９

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２	年次	２
使用教科書	「精選　現代文Ｂ　【改訂版】」　（三省堂）						
副教材等	現代文解法のテクニック２（啓隆社）・常用漢字ダブルクリア三訂版（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ

・2 年次では教科書の第一部を使用します。
・国語総合で学んだことをさらに発展させ、国語を通して社会・文化に対する理解を深めましょう。
・文章記述、発表、話し合いなど、アクティブな活動に積極的に取り組んでください。
・様々な文章について「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けましょう。
・年間を通じて漢字や文学史の小テストに取り組み、語彙力と知識を身につけましょう。これらの力は将来、自らの能力を発揮する上で欠くべからざる基礎となることを理解してください。
・安易に「答え」を求めるのではなく、自らの考え・意見を筋道立てて表現し、回答を導き出した上で、考え足りなかった部分、表現しきれなかったことを振り返りましょう。
・ノートは要点を記録し、知らなかった情報をメモし、考えを整理するために不可欠のツールです。黒板を写すためのものではありません。自ら工夫し、活用してください。
・定期考査の前には教科書の本文を再度熟読し、自分自身で設問を想定しながら読み解いてみてください。
・提出物の期限は必ず守りましょう。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深めようとする。	目的や場に応じた表現を追求し、聞き取りや話し合いを通して自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字、文学史等、国語による文化を理解し、知識を身につけている
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論(一)	・論旨を正確に追いながら、筆者の考えやその展開の仕方などを理解する。	○	○		◎	○	a:引用されている事例について、身近な例に置き換え、理解しようとしている。 b:自分の考えを簡潔にまとめて伝え、他者の意見に耳を傾けている。 d:具体例を元に、筆者の主張を的確に読み取る。 e:主な漢字や語句の使い方を理解する。	a、b、e: 行動の観察と確認 d:ワークシート記述の点検
	小説(一)	・文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方を味わう。	○			◎	○	a:表現上の特色に注意しながら、文章を読もうとする態度を身につける。 d:人物の心情を理解しながら文章を読む e:語句の意味や用法を的確に理解する。	a，e:行動の観察及び記述の点検 d:記述の点検及び定期考査
	詩・短歌	・韻文を音読し、作品世界への理解を深め、詩人の個性に触れる。	○			◎	○	a:詩が内包している音楽的、絵画的要素を総合的に鑑賞しようとする。 d:描かれている情景を把握し、作者の思いを読み取る。 e:詩歌の表現形式や修辞を理解し、文学史的知識を身につける。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
2学期	記録	歴史や民俗を記録した文章を読み取りながら、人間や文化についての考えを深める。	○		○	◎	○	a:筆者や、教材の内容に関心を持ち、自分なりの考えを持とうとする。 積極的に範読・音読・指名読みに取り組む。 c:この文章を読んで感じたことをまとめることができるか。 〈ノートへの記入〉 d:問題に対して出している答えを理解する。 心情を説明できる。 e:語句の意味や用法を理解してする。	a:行動の観察 c、d、e: 記述の確認及び定期考査

	評論(二)	・論理的な文章を読んで、論拠をおさえながら筆者の主張を的確に把握する。	○		○	◎	○	a:読むことを通して主体的に問題意識を持ち、考えようとする。 c:テーマに即して自分の意見をまとめ記述することができる。 d:論理の展開に注意し、構成を確かめながら筆者の意見を読み取る。 e:観念的・抽象的な語句の意味を理解する。	a、d、e: 行動の観察と確認 c:記述の確認、分析
	評論(三)	・現代社会の問題点を論じた文章を読み、現代社会への関心を広げ、問題意識を持って様々なトピックに目を向ける。	○		○	◎	○	a:読むことを通して主体的に問題意識を持ち、考えようとする。 c:テーマに即して自分の意見をまとめ記述することができる。 d:論理の展開に注意し、構成を確かめながら筆者の意見を読み取る。 e:観念的・抽象的な語句の意味を理解する。	a、c、e: 行動の観察 記述の点検 d:記述の点検と確認及び分析
3学期	小説(二)	・時代に特有のものの考え方と、人間の普遍的な心情に目を向けつつ、自らの生き方を考える。	○			◎	○	a:小説の世界を、想像力豊かに読み味わおうとする態度を身につける。 d: 情景や会話の描写から人物の心情を読み取り、情景を把握しようとする。 e:言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。